

新年あけまして

おめでどうぞございます

会長 藤田 進久



皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。年頭にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

平成三十一年の幕開けとなりました。昨年は、稀にみる異常気象に見舞われ、皆様も就業状況や日常生活でもさぞしご苦労なされたことでしょうか。亥年は「無病息災」の意味もあると言われており、本年が穏やかな一年となりますように切に願うところでございます。

さて現在、全国シルバー人材センター事業協会では、会員百万人計画の目標を掲げて、全国のセンターが目標に向け活動を行っております。山武市の人口はおよそ五万二千人で、高齢化率は三十三%を超え非常に高い数値にあり、高齢者は毎年増え続けている状況です。当センターには、現在四百人を超える会員が入会しておられますが、さらに多くのお仲間を増やす必要があります。増やす余地はまだあります。皆様のお知り合いやご近所の方などに「シルバーは、仲間ができて楽しいよ」と、お誘い頂き会員の増加にご協力いただきますようお願いいたします。より多くの会員が増える事によって、新たな就業先の確保につながる事ができるようになり

ます。そうして、会員の増加を就業先の拡大へと展開することが可能になり『まちの便利屋さん』として地域社会に貢献していきたいと思っております。

ところで、皆様の安全管理意識の向上により、昨年は大きな事故もなく、また、飛び石事故なども減少いたしました事に對しまして、厚く感謝申し上げます。しかしながら、世情と同様にこのシルバーでも最近では交通事故が増加しております。就業途上や個人でのお出かけの際には、自動車や自転車等の運転を見直して、さらなる安全運転を心がけようではありませんか。安全は、何よりも大切なものです。就業にあたっては、情性に陥ることなく、常に就業前にひと呼吸入れて、安全にお仕事をされますようお願いいたします。

結びの言葉として、皆様方にとって、より良い一年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



明けましておめでどうぞございます

山武市長 松下 浩明



山武市シルバー人材センター会員各位をはじめ関係者の皆様におかれましては、健やか

に新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は市政に對しまして、格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。山武市シルバー人材センターにおかれましては、永きにわたり、地域の皆様から親しまれるセンターとして発展してこられたことに深く敬意と感謝の意を表します。

長期化する人口減少社会の最中であって、国の進める生涯現役社会の実現のためには、働く意欲と能力のある高齢者の方々が活躍し続ける環境づくりが必要であり、それを担う仕組みとしてシルバー人材センターの活動は大変意義深く、センターに向けられる地域社会の期待も一層大きくなっていきます。

地域の先輩である高齢者の皆様は、長年培ってきた知識・経験・技能を活かして就業することにより、豊かで積極的な生活と社会参加による生きがいを実感させるとともに、地域に活力を生み出し、地域社会の福祉と活性化に引き続き寄与されますことを期待しております。

迎えましたこの新しい年も、ふるさと山武市がますます活気に満ちる一年となりますよう、取り組んでまいりる所存でございます。より一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

年頭にあたり、山武市シルバー人材センターのご発展と、会員皆様方のご多幸とご健勝、ますますのご活躍をお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



【事業報告】

「安全運転講習会」開催

高齢者の交通事故の増加を受け、業務内容で運転を常態的に実施している不法投棄パトロール就業者を対象に安全力を高めるため、安全運転講習会を開催しました。



十月十六日・十八日は、松尾教習所の安全講話、ペーパーテスト、路上走行を二日間で六名の会員受講しました。

二十五日は山武地区安全運転管理者協議会の運転適性検査を九名の会員が受講しました。

女性部会料理教室

広報委員 小島 邦男

シルバー人材センター女性部会主催の「料理教室」に参加しました。日時は十一月二十五日九時半から。場所は松尾T保健福祉センターの調理実習室です。

献立は、ちらし寿司、すまし汁、豚肉の生姜焼き、大根の浅漬け、さつまいものサラダ、パンナコッタのブルーベリー添えの合計六品。参加者は二十八人、うち男性八人。四人ずつ



七班に分かれて調理しました。

用意されたレシピは、例えばちらし寿司の具の場合、しいたげとかんぴょう、れんこんにんじんをそれぞれ別の味付けで煮たり、豚肉の生姜焼きも筋に切り込みを入れたり、漬け汁と焼いた後にかけるたれを別々に作るなど丁寧なもの。「家じゃこんな面倒なことやらないよね」などと言いつつ、主婦歴十年の皆様方、ブラス殿方の皆様方、なんだかんだとおしゃべりしながら、各自が手際よく作業を進めていました。



お昼前までに、ほぼ出来上がり、全員で試食。調味料は結構いい加減なものもありましたが、それぞれそれなりに美味しく仕上がったようです。



さつまいものサラダは初めてでしたが、意外とおいしく、「今度つくってみようか」という声があちこちで聞かれました。それ以外のレシピは、あまり実践する機会はないと思いますが、結構楽しかったです。来年もやるのなら、都合が合えば参加したいと思えます。

会員技能講習「清掃講習会」開催

九月二十六日に清掃講習会を開催しました。初めに津久井局長の福祉・家事援助サービス就業の心構えについての講義では、自分勝手な判断をしない、お客様の要望を聞く、などの作業をする上での基本的なことを確認しました。

実技は、「家庭掃除・収納士」講習を受講した布留川かつ会員より、掃除の基本として、

- ① 雑巾の使い方
- ② 掃除機の掛け方
- ③ トイレの掃除

を行いました。掃除機は参加者の男性会員二名にかけてもらって、疑問に思うことをみんなの意見を確認しながら講習を進めました。

今回は参加者が市民の方を含めて十一



名と少数でしたが、普段の清掃就業で「どうしたらいいのかな？」と声に出して、みんなの意見を出し合い、今後の就業へとつながる講習会となりました。



講師の布留川かつ会員(前列中央)と参加者で修了写真

【普及啓発促進月間 活動報告】

毎年十月を普及啓発促進月間と定め、全国的に会員参加型の事業活動や、市民との交流の場を広める事業を実施し、地域社会にシルバー事業の社会的意義を強く宣伝・周知する事業を展開します。
今年も様々な活動を行いました。

まつおこども園年長児交流会

十月十日、会員と職員でまつおこども園を訪問し、年長児とペン立ての工作、昔遊びの交流会を行いました。
自己紹介をしてから、各班に分かれて子供たちと千代紙をちぎって、牛乳パックに貼ってペン立てを仕上げました。上手に自分で書いた名札を入れて色とりどりの素敵なペン立ての完成です。



遊戯室では「昔遊び」の輪投げ・けん玉・福笑いで遊びました。今回は缶ぼっくりが人気で順番待ちでした。裸足になって指が痛いといいながら、にこにこ顔で走り回っていました。
毎年子供たちとの交流は、笑顔になれる楽しい時間です。子供たちにわかるように、ひ

らがなで書いた名札を読んで、「みっちゃん、と呼んでくれたわ」と参加した会員から嬉しい声が聞けました。



『きらきらシルバーフェア』を開催

今回は成東中央公民館にて、きらきらシルバーフェア・会員展示会を開催しました。来場者数は二百六十八名と大盛況で、会員さんがきらきら輝いている姿を市民の皆さんに紹介できました。

会員作品展示会

広報委員 渡邊 いずみ

十月二十三日〜二十六日の四日間第十一回作品展示会が、成東中央公民館で開催されました。今年度は松尾ふれあい館が改修工事のため、会場が変わりました。今回も多くの出展を頂き、会場作りから始まり展示品を飾っていききました。手芸品は展示物の中でも一番多く暖かそうなマフラー、ベスト、着物リメイクの洋服、レース編、帽子、花瓶に生けた小花達等々、工芸品では良い香りの山武杉で作ったスマホやリモコンの置台、力作の仏像彫刻、きれいな革製品のタブレットケース、二年掛りで仕上げた安土城、色合いの良い陶器、枯れ木に飾りの置物、ペットボトルに水を入れLEDライトを当てると明るく光る防

災グッズ等。芸術品ではひときわ目を引く正面にある書道と絵画、押し花はとてもきれいでした。思い出の写真、一瞬のシャッターチャンス逃さない意気込みが感じられました。日々の想いをしたためた俳句、丹精込めた盆栽や、菊の花が会場に色彩を添えてくれました。



た。また、まつおこども園児と一緒に作ったペン立てもたくさん飾りました。どれも傑作です。

初日の受付は私でした。来場者の方々にはすみれサークル作品のタオルわんちゃんをプレゼント！第一声「かわいいね」「選ぶのに迷っちゃ

う」「何で出来ているの」「作り方を知りたい」見ているとみなさん、良い笑顔で選んでいました。公民館教室に通う人達が興味津々で、作品もじっくり見て頂き会場も賑やかでした。「シルバーってどんなことをしているの」の質問にパネルに貼った活動中の写真の場所へ案内し、就業風景、ボランティア活動、すみれサークルの手芸教室、いきいきクラブの収穫風景、親睦旅行等を見て知ってもらえたと思います。
シルバーセンターの名前は聞いたことがあ



展示会を見てくれた方より感想が寄せられました。「どの作品も素晴らしく受付係の後藤さんに丁寧の説明して頂き感心しました。シルバーではなくゴールドですね」とお褒めの言葉を頂き、しゃれ上手で私は心がホックリしました。近隣のシルバー人材センターの役員の方も視察に来て感心していました。出展してくださった皆様、まことにありがとうございます。

成東公民館での展示会は初めてでしたが、来場者が多く前回より倍近くの人数でした。今年も忙しい中、作品作りも大変ですがどんな作品に出会えるか楽しみです。

普通、展示会というと一、二種類の作品でしかないのですが、シルバー人材センターだからこそ、様々なジャンルの作品に出会えるのだと私は思いました。(展示作品は裏表紙)

各団体主催のまつりに参加

事務局 秋庭 光雄

○山武市健康福祉まつり十月二十一日(日)

○山武地区社協バザー 十一月 三日(土)

○山武市産業まつり 十一月二十三日(金)

山武市シルバー人材センターでは、今年も各団体の行事に参加して、リーフレットやポケットティッシュの配布、アンケート調査、独自事業の野菜や手芸品等を販売し、市民の方にシルバー事業のPRや会員募集の普及啓発活動を行いました。

「いきいきクラブ」の販売品は、前日に収穫した聖護院大根やサツマイモ等。試食も用意し、早々に完売しました。

「すみれサークル」では、ニット帽子やクラフト帽子、タオルわんちゃんが人気の商品でした。

多くの会員さんのご協力を得て、大盛況に終わる事ができました。

**女性会員・女性市民向け
「手芸教室」開催**

広報委員 川島 房枝

さらさらシルバーフェア開催中の十月二十四日に独自事業「すみれサークル」による手芸教室が行われました。

参加者は、会員十二名、女性市民一名、東金市シルバー人材センター女性部委員長の計十四名で、ガーゼの手ぬぐいで帽子を作りま



した。東金の方はもちろん初めてでしたが、会員の初めにも私を含めて何名かが初体験の人もおりました。でも、皆さん作業が進むうちに、楽しい笑い声が起こり、作品が出来上がるころには、かわいい帽子が作れたと喜びの声が上がりました。一見、簡単そうに見えても、最初は針など持ったことがなかったものですが、帽子にゴムを

また、東金市シルバー人材センターの方も「こ



うやって作るの」とい

接遇講習会に出席して

職群班長 馬場 正道

十月二十三日午後一時三十分より、成東中央公民館において、接遇講習会が行われました。今回は、貴方の笑顔はみんなの安心。と題して、シルバー接遇マニュアルのテキストを使用し、事務局長の津久井さんが説明されました。いずれも人と接するときの基本的な問題点と対象方法について学びましたが、特に印象に残ったことは、

- ① あいさつに始まり、あいさつに終わる。
- ② 聞き役に徹する。
- ③ 断わり上手となる。

でした。間を置いて、相手の立場をおもひながら余裕を少し持てば、トラブルも未然に防ぐことができることも実感しました。

続いて、エゴグラムチェックリストを五十項目行いましたが、久しぶりで自分自身を見つめ直すことができ、大変面白かったです。今回も是非お願いできたらと思います。



親睦旅行に行ってきました

旅行クラブ 山本 栄



十二月七日(金)・八日(土)二日間とも穏やかな天候に恵まれました。東伊豆稲取温泉の親睦旅行へ行ってきました。大型バス二台で総勢五十九名で出発し、最初は「アサヒビール神奈川工場」に到着し、専任のガイドさんからビールの製造工程からできあがり商品、ミニ知識を学び見学し、お待ちかねの試飲タイムです。みんなで作ったのビールやソフトドリンクを頂きました。

続いて、小田原の鈴鹿かまぼこの里で買い物、昼食には金目鯛炙り御膳を食べとても美味しかったです。小田原城ではバスごとに集合写真を撮り、場内を見学しながら城の歴史に触れ、天守閣を目指した方もいたようです。



その後、車中にてカラオケなどをしながら一路今夜の宿、相模湾を一望する稲取温泉、おもてなしの宿で有名な銀水荘に到着しました。自家源泉を使用した大浴場・露天風呂・サウナ等のんびりとでき、海の眺めも最高でした。お楽しみ会の宴会は、和気あいあいの雰囲気の中、飲んで歌って、美味しい料理を心ゆくまで頂



きました。

二日目は、ホテルを出発し、ループ橋・天城峠を見学して、わさび工場の見学。たくさんのお土産を抱える会員さん達の姿も見受けられました。



昼食は三島の伊豆フルーツパークにて駿河湾しらすまぶし御膳を食べました。最後に箱根芦ノ湖の玄関口とも

言われる「箱根関所」を見学しました。どこからか、「箱根関所は、うん十年ぶりの修学旅行以来だわ」と聞こえました。

たくさん歩いて、たくさん飲んで、食べて、おしゃべりをして……。いろいろな思い出を乗せてバスは帰路につきました。途中多少の渋滞はあったけれど、皆様のご協力のおかげで楽しい旅ができました。



入会者紹介

よろしくお願ひします

(平成三十年九月)

- 河野 祥伸 (成東)
- 布施 信子 (成東)
- 山口 進 (山武)
- 宇佐見 陽子 (山武)
- 黒岩 芳信 (蓮沼)

(平成三十年十月)

- 布施 博 (成東)
- 川島 のぶ子 (成東)
- 佐々木 勝雄 (山武)
- 伊藤 義光 (松尾)
- 秋葉 きよ子 (蓮沼)

(平成三十年十一月)

- 木村 芳博 (成東)
- 伊藤 喜久夫 (成東)
- 出田 初恵 (山武)
- 長尾 美知代 (山武)
- 伊藤 節子 (松尾)

(平成三十年十二月)

- 布施 雄進 (松尾)
 - 押尾 眞理子 (松尾)
- (敬称略)

会員ひろば

第六回 私の趣味 紹介シリーズ 『私の趣味は「三日坊主」です』

広報委員 関口 憲一

私が趣味と言えば、おそらく「三日坊主」でしょう。そうだそうだと共感を持つ人もいらっしゃるかも知れません。思い出すだけでも数々の趣味をやってきました。ギターに始まり大正琴、海水魚、切手、古銭収集、祭り、釣り、麻雀、手仕事、園芸、将棋、家庭菜園、カラオケ、日曜大工、その中でも祭りは永くやっています。祭りの会に入りあちこちの祭り場に神輿を担ぎに行ったり、夜中の二時起きをしてニュースでお馴染みの浅草の三社祭の宮出しを毎年担いだり、宮入を担いだりしていました。寄る年波には勝てず六十歳を過ぎた頃止めましたが今でも神輿を見ると身体がむづむづします。しかし、七十歳を過ぎたこの年まで続いている趣味といえば、日曜大工、家庭菜園、釣り、麻雀です。特に現在力入れている趣味は健康麻雀です。市内の福祉協議会で六十歳以上を対象に『お酒を飲まない、タバコを喫わない、お金を賭けない』等を掲げ市内の何か所かの福祉協議会で実施しているようです。主旨は少しでもポケずに健康で居られる様にとの事ではないかと思えます。確かに麻雀は手を動かしながら頭と目と耳をフル稼働させて行うゲームですし、勝ち負けもあり、普段とは異なる感情を刺激するのではないかと私も思っております。麻雀の醍醐味と言えばは相手の手の内を読み、押し引きを決めてその予想がピタリと当たった時の快感と役満が上がったときの喜びにはたまらないものがあります。私の登録している成東健康麻雀では七十代後半で初めて麻雀牌に触る人もいる位で、これから何かを始めることには遅いと言う事はないと思えます。永く続けてい

る趣味も良いし、始めたばかりの趣味でも良いし、好きなことを楽しくワクワクとする様な事を気軽にどんどんやって健康寿命を延ばして残りの人生をエンジョイしましょう。



三役(会長・副会長・常務理事)だより 新年の事始め

常務理事 津久井 知世

一月往ぬる二月逃げる三月去る (イチゲツイヌルニゲツニゲルサンゲツサル) このように月日の経つのは早いものです。去年の夏の暑さにぐったりし「夏なんか嫌いだ!」と思っている間に、気付けばもう冬です。年齢分母論をご存知ですか?十歳の一年は十分の一、六十歳の一年は六十分の一となり、十歳の時の六倍の早さで日にちは過ぎていくわけですから、一年が過ぎるのはどうりで早いわけです。分母が大きくなるばかりの私たちにとって、今この瞬間はとても大切なものとなりますね。

作品展示会や芸能大会で、会員の皆さんの新たな一面に感心し、無芸の私にはとてもうらやましい事です。何年前か前までは、趣味と呼べるものがありました。が、今の私は失ってしまい、「今年こそは」と思うばかりです。そう、私です、私は失っただけなので、今からまだ探すことが出来るわけです。そう思えば、無趣味も楽観的に考える事が出来てしまいます。

このように、人は考え方を考えるだけで、

気持ちや軽くする事ができ、反対にふさぎ込んでしまったりしてしまいます。ある程度は、気持ちや自分でコントロールできるわけです。分母が大きくなるばかりの我々ですが、そこで皆さんにお願いがあります。今年一年楽しく朗らかに一緒に時を過ごしましょう。笑うことで脳は活発化し、人との交流で心の虚弱を抑制できるそうです。そうであるならば、交流するなら「楽しく!」が一番です。趣味はまだまだ模索中ですが、今年の motto は『楽しく』と決めました。楽しく一年を過ごすために、新年の事始めとして「新春芸能大会」への多くの皆さんのご来場をお待ちしております。一緒に楽しくひとときを過ごしましょう。笑う門には福来る”ですよ。

文芸

短歌

土屋 敦保

大祭りは二年に一度の兎多し

雑子に令わせ山車を引きゆく

空海の学びし長安青龍寺

四国が贈し桜の見出ず

毒寿になり眼を患いて痛み耐え

片眼をなくし日毎にくやむ

俳句

関口 宙海

風吹かば枯れ景踊るや散歩道

朝顔に紐取られしも灯かり点け



作品展示会

行遠必自通

月... 日... 年...

編集後記

会員の皆さん、新年あけましておめでとうございます。平成も三十一一年になり、平成の元号もあと四ヶ月で終わりになりますね。次の元号が何になるのか、今年の楽しみの一つです。

さて、広報二十一号をお届け致します。新春号にふさわしくどのページもシルバーならぬゴールドのメダルを貰えるような生き方をしている会員の笑顔があふれています。

「まちの便利屋さん」として働く機会を戴き、喜んでもらえるように働くための技能や接遇の要点を学び、そして余暇には手足と脳細胞を動かせるような趣味などで老化防止に努め、残り少ない人生を楽しく過ごしたいものです。

一月は本格的な寒さがやってきます。風邪などひかぬように留意して、今年もがんばりましょう。

広報委員 新田 博

☆ お知らせ ☆
 ○事務所窓口に設置した募金を社会福祉協議会にお渡ししました。「西日本豪雨災害募金」3,217円ご協力ありがとうございました。
 ○次号から社会福祉協議会の広報「きずな」を通じて、お互いの活動状況やお知らせなど情報交流をすることになりました。次号で詳しくお知らせしますのでお楽しみに！ なお、社会福祉協議会ではゴールドクラブ会員を随時募集していますので、興味のある方はお問い合わせください。